

東日本大震災における警察措置

岩手県警察

約600人+約400人派遣

宮城県警察

約900人+約600人派遣

福島県警察

約2,100人+約800人派遣

3県合計 約5,400人体制（約1,800人派遣）（11月16日現在）
 【最大時約12,800人体制（約4,800人、車両約1,000台派遣）】

地震・津波対策

原発事故対策



避難誘導

住民を高台に避難誘導。その過程で多数の警察官が殉職。



救出・救助

広域緊急援助隊等が約3,750人を救出救助。



交通規制

緊急交通路の確保や滅灯信号機への対応等の措置を実施。



身元確認

多数の御遺体を困難な状況の中で身元確認。



警ら・捜査

制服警察官によるパトロールや、機動捜査を強化。



被災者支援

警察官が避難所等を訪問し、きめ細やかな相談活動等を実施。



避難誘導

原発周辺から住民を迅速に避難誘導。



放水活動

使用済み燃料プールへの放水を実施。一定量の注水に成功。



捜索

防護服等を着用しながら捜索活動を展開し、多数の御遺体を収容。



検問・警ら

警戒区域において検問や警らを実施。